

1 調査の目的

長崎港元船地区およびその周辺は、長崎市中心部に位置し、五島列島や沿岸諸島への定期航路や「明治日本の産業革命遺産」の構成施設である端島への上陸・周遊クルーズなどが発着する「長崎港ターミナルビル」をはじめ、出島ヨットハーバーや商業・飲食施設が立地するなど、「海の玄関口」として、多くの賑わいを見せている。

令和4年9月の西九州新幹線の開業や、駅周辺開発、ベイエリアでの新たな開発など、人流・交流の拠点がベイエリアにできつつある。そのような中、施設の老朽化が進んできている、元船地区においても、海上交通の要所としての港湾機能の更なる発展や、観光客や地元利用者が楽しむことのできる交流空間の創造等を求められている。

本サウンディング調査は、長崎港元船地区整備構想の実現に向けて、民間活力による施設整備および管理・運営の実現性について、民間事業者からの幅広い意見・提案を求め、個別対話を通じて、官民連携事業として実効性・実現性のある事業内容・事業スキーム等を構築することを目的に実施するものである。

2 調査対象者

調査手法：公募型サウンディング調査

個別対話の対象者：本整備構想の実現に関して、興味・関心、ご意見・ご提案があり、本事業の参画に意欲のある法人又は法人のグループ

3 調査スケジュール

内容	日程
説明会開催	令和5年9月15日 15時～
個別対話参加申込	令和5年9月20日まで
サウンディング調査票の提出	令和5年10月13日まで
個別対話の実施	令和5年10月17日～19日
結果の概要の公表	令和5年12月頃

4 個別サウンディング概要

次ページの施設配置イメージを提示のうえ、以下の内容についての意見・提案等を伺うことを想定。

1) 本事業への参画意向・参画可能範囲

- ①事業参画への興味・意向
- ②参画する場合の参画形態（代表企業・構成企業・その他 など）

2) 港湾施設整備について

- ①上屋の再配置・機能強化（案）について（ドラゴンプロムナード含む）
- ②駐車場の再配置・整備について

3) 観光交流施設整備について

- ①観光交流施設の機能・内容に関する提案・意見について
- ②DXによる魅力向上に関する提案・意見について
- ③施設の立体（屋上）利用による機能向上に関する提案・意見について

4) 交通利便性の向上について

- ①公共交通の充実について
- ②長崎駅から元船地区までの交通アクセスの強化についての提案・意見

5) 既存広場の利活用について

- ①施設整備イメージについての提案・意見について
- ②イベント等による利活用に関する提案・意見について

6) その他事業内容について

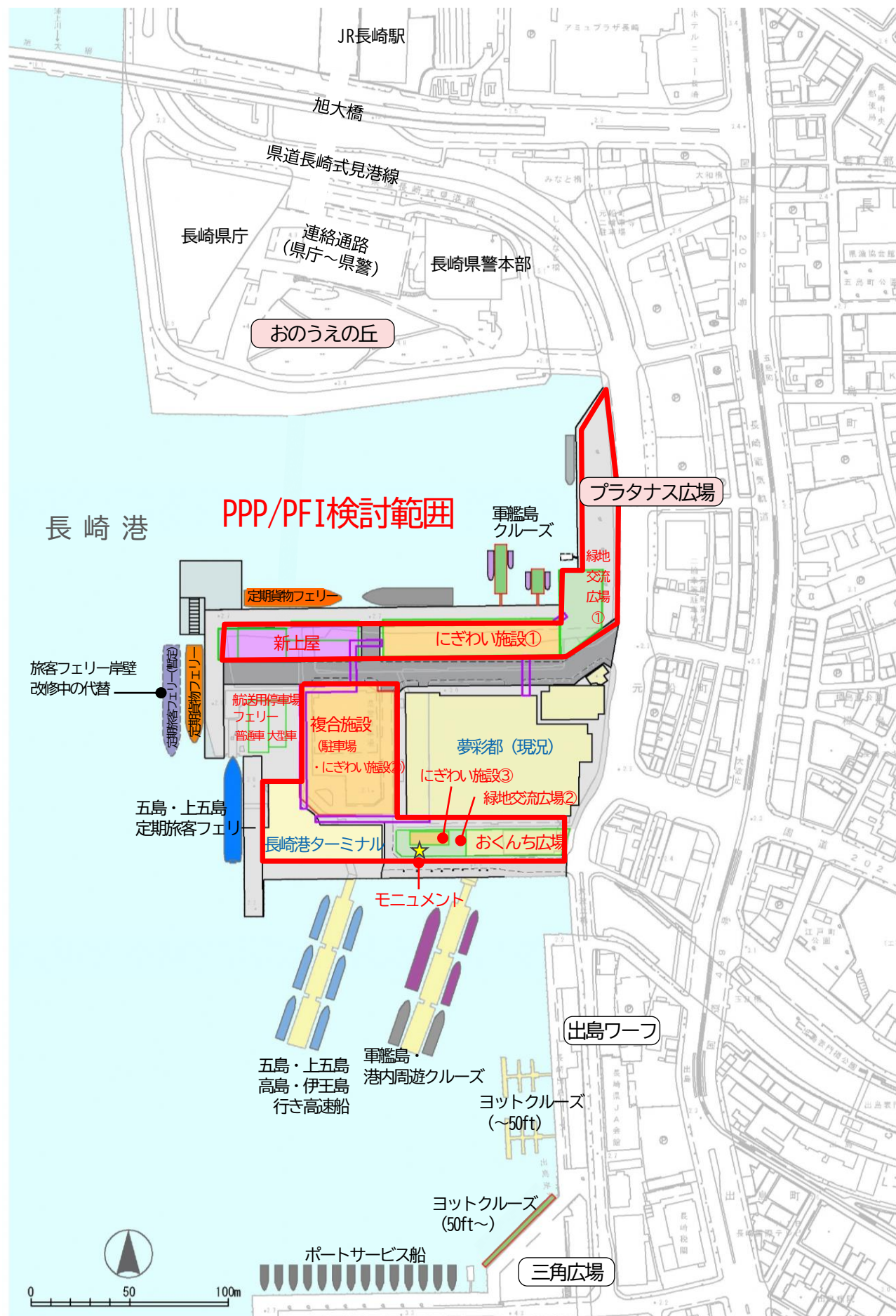
- ①民間事業者の独立採算事業での事業実施可能性・内容について
- ②その他、自主事業等の提案について

7) 事業手法について

- ①事業参画を検討する際の想定される事業手法や期間について

8) 事業者公募に向けた県への要望について

- ①公募条件（参画条件、事業期間、リスク分担等）について



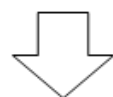
<PPP/PFI事業者による実施想定箇所>

	設計	整備	管理 (修繕含む)	運営
ターミナルビル	—	—	○	○
新上屋	○	○	○	○
立体駐車場	○	○	○	○
にぎわい施設 (①~③)	○	○	○	○
緑地交流広場 (②)	○	○	○	○
プラタナス広場	—	—	○	○
2階デッキ	○	○	○	○
既存上屋・駐車場	○	解体	—	—
仮上屋・駐車場	○	○	○	○

<行政による実施想定箇所>

	設計	整備	管理 (修繕含む)	運営
岸壁	○	○	○	○
護岸	○	○	○	○
可動橋	○	○	○	○
道路	○	○	○	○
浮棧橋	○	○	○	○
大波止ビル	○	解体	—	—

R5年5月15日 第1回検討会 ・整備コンセプト、ポイント



R5年9月6日 第2回検討会 ・施設配置計画、整備イメージ審議



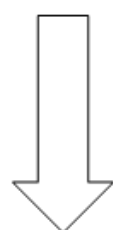
R5年9月15日～ PFI事業導入に関する民間事業者個別サウンディング開始



R5年12月 第3回検討会 ・整備構想（案）審議



R5年12月頃～ 整備構想に関するパブリックコメント



パブリックコメント内容の意見反映後

R6年3月 「長崎港元船地区整備構想」策定・公表